
つぶき～ぼやき & つぶやき～その3

あきチャン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

つぶき～ぼやき&つぶやき～その3

【Z-ONE】

Z4605M

【作者名】

あきチャン

【あらすじ】

物が意識を持って私たちを観察していくなら…

私は壁紙、貼られて間もない、美しい壁紙。
純白の気高い壁紙。

この家は子供が居るのだけど、その子供が私を汚していく…

昨日も外から帰った次男の汚つい手で私を触ったの。
私の美しく真っ白な肌に次男の手形が付いたの。
あり得ないかしら…

そもそもこの家族は私を大事にしなすぎなのよ。

この家族が引っ越してきた当日。

そう、私とこの家族との運命の出会い。

私は素敵な主人との出会いを楽しみにしていたわ。
なのにこの家族ときたら…

母さんはテーブルの角で私のやわ肌を削り…
父さんは私に穴を開けまくる…

長男は私を椅子の足で擦り…

次男のクシャミで私はびしょ濡れ…

長女は私を鉛筆で狙つてる…

どうして皆私を汚すの??

汚くなつたら替えればいいって思つてる??

私はそんなに安い壁紙じゃないの。

でも私だって不満ばかりじゃない。

母さんは私を見て、真っ白で綺麗って言つてくれたわ。
父さんは私の為に子供たちを叱つてくれたわ。

私は何時までもこの家に居たいって思ひの。

でも、そのうち私は年をとつて湿氣を吸つて
この家から居なくなるのでしょうか。

だから今は私を大事にして。

今の美しい私を覚えていて。

真っ白で染み一つない私を忘れないで…

父さん、母さん、一つお願いがあるの。
たつた一つだけ…

お願いします。

どうか外に出て煙草を吸つて下さい…

換気扇さんは全ての煙は吸つてくれません…

私…どんどん汚れいくから…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4605m/>

つぶき～ぼやき & つぶやき～その3

2010年10月9日04時33分発行